

2005年11月112号

コラム 杉浦 良 / 表紙の絵
田中明美さん/お知らせとできごと/協力
者名簿/メンバースタッフ投稿コーナー
月の宮作業所かわら版/編集後記

特定非営利活動(NPO)法人 太陽と緑の会

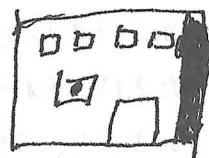
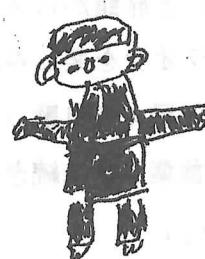
かわら版

巻頭コラム 杉浦 良

たくさんの皆さん方から、支援を頂戴して、新しい建物が少しずつ形を成していきます。今年の2月27日午前5時前、1階入り口付近より出火し、40分ほどで全焼した作業所兼店舗兼事務所の痕跡は、今はすっかり見えなくなりました。視覚から消えた焼け跡の存在は、記憶の底に沈み、忘却の海から寄せる波しぶきが「火災など本当はなかったよ！」と錯覚させる瞬間を醸し出させます。まるで新しい建物が、今までの建物をリニューアルするために建てられているかのごとき幻想に、時々頭をコツコツ自分でたたきながら、そんなすり替えを許してはいけないと自制する、もう一人の私がいます。こんな風に、痛くて辛い現実を、歴史の中に沈みこませてしまう自分の心理規制は、多分みんなにもあてはまり、妙な明るさが漂うスタッフやメンバーも同じ状況なのか？と、一瞬考えると、恐ろしくもあります。

11月6、7日の両日、一泊研修旅行をメンバー、スタッフ、ボランティアで行いました。6日の午前中にご飯を炊き、みんなで昼食のおにぎりを作り、香川県琴平町のつるや旅館さんのマイクロバスに乗り込みました。車に酔いやすかったり、トイレが極端に近かつたりするメ

ンバー用に、作業所の軽ワンボックスカーを併走させる、デコボコ珍道中の始まりです。つるや旅館に無事に到着。金刀比羅宮御本殿を参拝するために、785段の石段に挑戦するメンバー、スタッフ、ボランティアと、「とんでもない！温泉につかってゴロゴロするわ！」と畳に、ゾウアザラシさんかトドさんのように寝転ぶ、もう一方のグループにわかれながら、夜の帳が降りました。それぞれが、それぞれくつろいだ後は、大広間で美味しい料理を頂戴することになりました。日頃うるさいみんなが、黙々と、心のこもった料理を頂戴すること20分、いつもワイワイガヤガヤが戻ってきました。



下へ
かわら版

「今日は、徳島県福祉基金からの助成も受けられて、このような研修旅行が出来ました。一時は、こうしてみんながそろって顔を合わせることが難しいのではと、不安がよぎったこともありました。本当に有難いことです。みんなから一言、火事の後から今日までのことで、何でもいいから話して欲しいと思います。」そう話した後、マイクからひとりひとりの言葉が、1時間半もつながっていました。

「一時はどうなるかと思ったが、本当に良かった」「火事だと聞いて、頭の中がパニックになって、わからんようになった」「いまだに焼け跡が頭から離れません」「今まで以上に頑張って行きたい」言葉に置きかえれば、そのような内容になりますが、その言葉に込められた気迫と、身体から言葉をひねり出す迫力が、コの字型に座った大広間に充満しました。そういうえば、朝ミーティングは毎日やっているけれど、こんな風な話し合いは、火災以来、一度もしていないことに気がつきました。そろそろ言葉が途切れだし、次のカラオケに移ろうとしたとき「もうそろそろ終わりの時間です。。。」と旅館からストップがかかりました。「カラオケを楽しみにしていた人は、それぞれの部屋で各自歌ってください！」と、非情なる言葉が後に続きます。「。。。。。。。。」

次の日、NPO法人セカンドハンド（市民の方々から無償提供していただいた品物を、お店やバザーで販売し、その収益金を資金に、小学校建設、農村部の女性を対象とした職業訓練、医療施設や孤児院への支援など、

様々な活動をカンボジアで行っている団体）を見学、代表の新田恭子さんの話を聞かせていただいた後、高松市内の一般のリサイクルショップも見学させていただきました。マイクロバスの中で「ポルポト政権時代（1975年～79年）には、カンボジアの方の約3人に1人は殺されたと言われています。特に政府のお役人とか学校の先生とか、たとえば外国語を話すことが出来る人とかは手当たり次第に殺されました。3人に1人というと、親兄弟の中に必ず1人は殺された人がいるという悲惨な出来事です。。。」そうカンボジアの歴史と状況や、セカンドハンドの概略をかいづまんで話した後、「。。これはマナー、つまり当たり前のことですが、これはうちではいくらぐらいだ、とか、ここは高いな、とか、そういう話は、お店の中でしないでネ！それでなくても怪しい団体？と間違われてしまうから。。。」という、事務局長小山君の訓示を聞くことになりました。

「なに！怪しい団体。。。どこが怪しい。。。？こんな健全な団体なのに。。。！」とうそぶくメンバーのYさんでしたが、ぐるりと周り見回すと、近くに座るSさん、Tさん、Yさん、Iさん、Oさん、そしてもう1人のOさんの顔ぶれを見て、「これはいかん！。。。」とみんなで大爆笑でした。ただ、見回された周りのみんなからは、「なにゆうとる！お前が一番怪しいのに。。。」と反撃されて、またまた大爆笑です。

笑う門には福来る。

皆さんに感謝。

お知らせとできごと

廃食油のリサイクル～テンプラ廃油を粉石けんに～

9月26日、2トントラックにテンプラ廃油1320リットル（ポリタンク66本）を積み、白石、桑内、原の3名で、朝7時に太陽と緑の会事務局を出発、滋賀県大津市の株式会社マルダイ石鹼本舗まで持つて行き、廃食油から作った粉石けん1500キロ（3キロ入り500袋）を購入して持ち帰りました。これまで平成3年7月、平成7年6月、平成9年3月、平成13年9月と行き、今回で5回目となります。14年間で5320リットル（ドラム缶約27本分）の廃食油を7.5トン（2トン車約4杯分）の粉石けんとしてリサイクルしてきたことになります。これも創業して30年半、粉石けん作り一筋に徹してこられた中井社長さんのご協力があつてこそです。

マルダイ石鹼では独自に開発した「高温焚込法」により粉石けんを製造しています。集めた家庭用廃食油はろ過・沈殿によって不純物を取り除いた後、直径・深さ2メートルの大釜で精製後、苛性ソーダ水溶液を加えながら、100度以上の高温で14時間以上焚きこんで、未反応油脂がなくなるまで反応（鹼化）させます。廃食油の劣化の度合い、脂肪酸の量・種類、気温、湿度によって、苛性ソーダを投入する量・タイミングなどをその都度調節する必要があります。熟練した職人の経験と勘が勝負となります。できあがった純石けんに添剤（石けんの洗浄作用を助けるもの）として炭酸ソーダを加え、粉碎・乾燥させて粉末にし、さらに乾燥させて袋詰めして、マルダイ石けん「びわ湖」の完成となります。

テンプラ廃油から作った粉石けんを使うことで、①廃食油を有効利用するため、河川の浄化、ゴミの減量につながる、②粉石けんは合成洗剤に比べて、毒性が少なく、分解速度もはやいので、とりわけ下水処理の不十分な地域では、環境への負荷も低い、③手荒れや肌荒れもなく、小さなお子様にも安心、といったメリットがあります。

この粉石けんは洗浄力の高いことで定評があり、長年の愛好者、固定ファンが多いのも、高い技術によって裏打ちされたものといえます。太陽と緑の会事務局で、3キロ1袋700円で販売しています。実費に近い価格設定にしているのは、1人でも多くの方にこの粉石けんの良さを知って頂きたいからです。

宿泊研修旅行2005～香川のNPO見学～

11月6日（日）～7日（月）、作業所メンバー、スタッフ、ボランティア計26名が参加し、香川県の琴平町及び高松市において、太陽と緑の会リサイクル作業所、太陽と緑の会月の官作業所合同の研修旅行を実施しました。今年は2月に発生した火災の復興途上のため、研修旅行の実施も困難な状況にありましたが、障害者の自立と社会参加を図る活動として、財団法人徳島県福祉基金より20万円の助成を受けることができたため、これに自己資金を合わせ、研修旅行を行うことができました。研修内容は、琴平町の老舗、つるや旅館で一泊し、翌日、リサイクルと国際協力を結びつけた事業に取り組んでいる高松市のNPO法人セカンドハンド、及び高松市内のリサイクルショップの見学を行う、というものでした。

11月6日午前9時、通常通り太陽と緑の会リサイクル作業所に集合、午前中は作業を行い、昼食は手作りのおにぎりとみそ汁を食べました。時折強く降っていた雨も上がり、旅館の送迎バスと太陽と緑の会の軽ワンボックス1台に分乗し、午後1時に出発、板野ICから善通寺ICまで高松自動車道を走り、つるや旅館には午後3時30分に到着しました。

午後4時から金刀比羅宮へ参拝、735段登って、ガスが立ち込める中、かすかに見える讃岐富士をバックに記念撮影をしました。

温泉で疲れを癒した後は、夕食で、罹災後8ヶ月の活動を振り返りながら、瀬戸内の幸を心ゆくまで堪能しました。

翌7日、朝食をとり、午前10時に旅館の送迎バスに乗って出発、高松市へと向かいまし

た。高松西 IC近くのうどん屋うどんで昼食、セルフ方式のうどん屋さんは初めてというメンバーも多く、コシのあるうどんとリーズナブルな価格に大満足でした。

午後 12 時 10 分、高松市中心部にある N P O 法人セカンドハンド事務局に到着。琴平電鉄の瓦町駅から徒歩 10 分という交通の便のよい所にある 4 階建てのビルで、5 年前に同会で購入したこと。1 階が店舗となっており、2 階から 4 階までは事務局スペースとなっています。店舗にはリサイクル品が所狭しと並んでいました。

3 階の会議室に案内され、セカンドハンドの創設者で代表の新田恭子さんと 1 時間半ほどお話をさせて頂きました。初めに新田さんから、会の創設の経緯についてお話を頂いた後、質疑応答形式で会の運営方式や今後の方向性についてお聞きさせて頂きました。新田さんのリアリティのあるお話に、当会のハンディを持ったメンバーも共感を覚えたり、刺激を受けた所も多かったです。誰も考えつかないことを何もないところから始め、継続発展させていくことの大変さを改めて感じさせて頂きました。

午後 2 時にセカンドハンドを出発、リサイクルショップに寄った後、高松自動車道経由で太陽と緑の会リサイクル作業所に午後 4 時到着、解散となりました。

セカンドハンドは平成 6 年に創設、一般市民から無料で提供して頂いた不用品を販売するリサイクル（厳密にはリユース）活動によって得た収益から必要経費を引いた残額をカンボジアでの支援活動に充てていくという民間非営利事業で、イギリスでは幅広く行われているチャリティショップにヒントを得て始めた、先駆的かつユニークな活動です。カンボジアでは小学校建設支援（10 校）、職業訓練プロジェクト、識字教育支援、医療支援などを行い、支援金は 11 年間で総額 1 億円を越すとのことです。香川県内に 3箇所、福岡県に 1 箇所の支店がある他、北海道、埼玉、大阪に計 3 箇所の支部もあり、ニュースレターも 5,500 部を年 4 回発行と、香川から全国へと広がりを持っています。基本的には、代表の新田さんを含め、小学生から年配の方まで様々なボランティアが関わる

ボランティア主体の運営ですが、年間予算が 2000 万円を越した頃から有給の事務局スタッフを入れるようになり、現在 2 名の若手事務局スタッフが活動しています。

国際協力事業に取り組む団体は草の根で活動している所から大企業規模の所まで数多くありますが、リサイクル、国際協力、そしてボランティア育成（社会教育）という異分野をリンクさせている点がこの会の独自性であり、強みでもあると感じました。

近年、リサイクルショップの増加の影響等でリサイクル活動による収益が減少している反面、寄付金収入は増加しているとのことで、資金源構造も変化しつつあるようです。当会と共通する部分もあり、大変充実した研修になりました。同会の今後の発展とご活躍を願ってやみません。

阿波銀福祉基金助成でパソコンを購入

財団法人阿波銀福祉基金より 10 万円の助成を頂き、これに自己資金を合わせ、ディスプレイを除くパソコン一式（タワー型パソコン、外付ハードディスク、テーブルタップ）を購入させて頂きました。

平成 17 年 2 月 27 日未明に発生した火災による事務局建物全焼のため、タワー型パソコン 2 台、ノートパソコン 1 台、外付ハードディスク 1 台、ワープロ 3 台などの事務機器も全滅してしまいました。一般市民の方からご寄付頂いたパソコンなどを使用してきましたが、うち 2 台が故障により使えなくなっていたため、今回の助成は本当にありがとうございます。このパソコンで太陽と緑の会復興のためにご支援下さっている方々への経過報告等に使用させて頂きたいと思います。

阿波銀福祉基金からの助成は今回で 11 回目となります。平成 3 年度から平成 10 年度までの毎年、及び平成 13 年度、平成 14 年度と継続的にご支援頂き、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所の備品整備で本当に助かっております。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

再建に向けてご支援下さった方々

§ 2005年6月21日～2005年10月4日 §

「太陽と緑の会復活大作戦」（代表 服部宏昭）にお振込み頂いた方

高橋利枝様、蓮光寺 荒木義典様、後藤郁子様、豊井繁美様、八万小学校 教職員一同様、柴田佐規子様、蓮花寺 田中智章様、オリオン調剤薬局様、進尚子様、高松峻大様、服部宏昭（地蔵寺募金箱様、ボルネイ募金様）、小林茂様、福原孝弘様、成徳院 森藤栄信様、新浜昌子様、三好千恵子様、自然スクールT O E C見舞金を下さった方々様

当会の活動に協力して頂いた方々

§ 2005年8月21日～2005年10月31日 § （紙面の都合上、敬称は省略させていただきます）

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○中山、奥野、山田、三木、奥村、木村、伊原、伊藤、福家、久米川、浜野、平岡、梶井、吉田、細川、田中、沖津、藤黒、後藤、津田、藏本、木下、米澤カタリーナ、上野、芝井、近藤、堀井、濱川、原、山下、友竹、佐藤、岡本、馬場、山崎、板倉、川原、金本、大野、坂東、今獅々、岩野、村田、宮本、富尾、西野、浦田、Ronald Page、岸本、井上、高島、滝山、西村、平尾、矢野、武井、武田、黒鳴、西内、力安、谷口、高見、北川、川田、山口、山花、三枝、柿原、岩瀬、元渕、福家、杉山、永峰、田和、石川、栗飯原、榎、井原、尾方、池田、ラマ・プラント、佐々木、吉成、河野、藤原、村上、村賀、中山、森田、梶井、中川、楠本、木内、川口、バーバラ・エイキンズ、森、鍋島、山岡、東道、大黒、照本、宇野、谷村、長崎、武市、松原、豊崎、鈴江、石田、坂本、西岡、坂本、シャリフ、大島、酒井、新田、徳川、ラマプラント、天羽、大林、藤岡、藤本、なむなむ堂、多田、三嶋、長尾、笹田、日下、津田、島田、佐野、元渕、新居、清水、池内、松倉、久米、福島、森崎、高木、豊田、松浦、関本、岸野、立石、金本、井上、丸岡、壯光堂、福島、福田、川原、坂井、奥野、清水、都、持田、木内、福井、藤田、木篠、上田井、小川、吉川、伊原、林、みどり清掃、滝川、森田、芦田、新居、川端、雑賀、船越、杉生、松永、小渡、岸、園田、石川、児玉、四国大学付属幼稚園保護者会、生島、正城、横山、あわっこ作業所、田所、なむなむ堂、米田、北川、勝浦、後藤田、藏本「有」オカダ器機、八木、岡島、総合、宮西、蔭山、西林、曾川、桂、津村、黒川、石田○鳴門市○寺田、尾崎、宮本、戸井、原田、斎藤、山田、足田、岩瀬○藍住町○小林、山田、天羽、野口、森本、斎川、松尾、犬伏、田中、久保、河村、鳥取、梶、大西、北岡、岡本、木内、吉田、久保、滝下、高田○阿波市○森本、保田、笠井、堀尾、新見、木村、大倉○石井町○中川、渡辺、黒田、西村、岡田、安岡、大森、西岡、久米、岩崎、田中、矢田、平田、近藤、高橋、山口、桑原、長町、北岡、竹内○松茂町○齋藤、千葉、中西○板野町○沖津、中原、酒巻、五条、山口、村田○北島町○多田、今市、橋田、西本、岩木、久米○香川県○三谷、植田○吉野川市○岸田、近、弥吉、岩崎、竹内、山脇、

福田、富澤、山崎、早見、岡崎、松本、阿部、板野〇上勝町〇田中〇上板町〇杉山、楠、日中〇阿南市〇保田、久米、割石〇福島市〇久次米〇海南町〇海南町社会福祉協議会〇羽ノ浦町〇東、阿部〇つるぎ町〇藤田〇松山市〇浜田〇東京都〇荻野、樺原〇小松島市〇木内、小延、小川、雲井〇山川町〇井内〇高知県〇谷岡、清水、辻〇三好町〇瀬本〇神山町〇大野〇板野郡〇坂東〇奈良県〇早渕

不用品を回収させて頂いた方々

〇徳島市〇矢倉、須藤、木村、共同ガス株式会社、池本、矢野、小林、谷川、西岡、水口、西條産婦人科、木内、吉田、井内、吉村、大崎、老人ホーム千秋園、西、若山、安藤、大崎、久次米、小路、勝浦、モンチャヤ、宮城不動産、藤吉郎、山中、八木、黒田、村田、河野、コフィー、三谷、酒本、山下、後藤、内田、阿部、鎌田、吉岡、佐藤猪子、太田、柿原、広瀬、前川、豊田内科、雲財、パッケージ松浦、富尾、白井、早渕、田中、なむなむ堂、坂野、一番町電化、ブティック平岡、乙武、若松、玉島、トラスト、木村、藤井、小山、中川、カンガルー歯科、サーパス南末広 2 番館管理室、加茂、亀井、上田、須磨、久米川、平山、山本、大前税理士事務所、逢坂、中西、坂口、富士スレート、福島、Dコム、勝瑞、神例、斎藤、宮池、アイ美容室、横田、石原、大原、内藤、谷川、井原、三浦、東、衣料品店「オオグリ」、加茂、小浜、秋田、長谷部、郡、花瀬、尾崎、四宮徳川、矢部、常山、平岡、鶴島、みどり清掃、山口、林、安藤、赤澤、赤星、立石、熊山宝豆腐、大塚、フォトハラダ、原、徳川、宮地、中村、長谷、坂東、桑村、ヘアサロン姫田、南電気、竹内、坂東、村沢、渡辺、滝下、吉岡、吉成、美馬、七条、井端、福岡、米津、岸、山花、矢部、大西、瀬部、久米川、永松、赤星、小芝、桃谷、浜口、平岡、滝花福島、広瀬、岡、松島、阿波観光ホテル、末広ボール、逢坂、黒川、安藤、神例、徳原、橋本電気、元山、豊岡内科〇小松島市〇新居、藤田、松浦、市原〇石井町〇遠藤、堀、吉本〇松茂町〇藤岡〇藍住町〇上窪、中川、山本泉〇吉野川市〇大形〇上板町〇竹重水大師会、坂東〇板野町〇梅谷、山口〇北島町〇結城〇鳴門市〇寺田、林、九龍〇阿南市〇石本〇那賀郡〇内村食品〇松茂町〇トンチンカン

不用品を持って来て下さった方には、持ち込みカードへの記入をお願いし、当会の機関紙をお渡ししていまして、ここでご紹介させて頂いているお名前は、そのカードに基づいています。しかしながら、「名前は結構です」と言われて置いて行かれた方、何度も整理しては持って来てくれた方も多く、実際の不用品の引取件数は、ここで紹介させて頂いた人数の3倍くらいあります。また徳島県外から持って来て下さった方、「捨てるにはしのびないから」とわざわざ郵送で送って下さった方もおられました。なお、厳重にチェックしていますが、万が一お名前の書き忘れ、書き間違いなどございましたら、ご遠慮なくご一報頂ければ幸いです。

太陽と緑の会復興へ向けた支援金の窓口について

太陽と緑の会リサイクル作業所再建支援金（主催 徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会）

振込先 郵便振替 01630-5-37964 口座名「山下安寿」

事務局 社会福祉法人ハートランド 精神障害者小規模通所授産施設あっぷる 事務局長 山下安寿

〒770-0051 徳島県徳島市北島田町1-46-4 TEL 088-633-1410 FAX 088-633-1423

太陽と緑の会復活大作戦（代表 服部宏昭）

振込先 阿波銀行 山川支店 普通1115339 徳島銀行 山川支店 普通5556061

郵便振替 01640-3-38004

口座名はすべて「太陽と緑の会復活大作戦」

事務局 〒770-0909 徳島県徳島市寺町92 般若院住職 宮崎信也 TEL 088-652-6754

NPO法人太陽と緑の会の活動は、ボランティア、各種関係者、一般市民の方のご支援、ご協力によって支えられています。本当にありがとうございました。



現在もテントを仮店舗にしての活動

リサイクル品販売情報

リサイクル自転車 2,000 円台から 8,000 円ぐらいまでです。

古着（例 紳士服、カーディガン、ブラウス、コート、ジャンパー、トレーナー、スーツ、スカート、Gパン、ベビー服他、ブランド品、着物類も一部出しています。） 50 円～

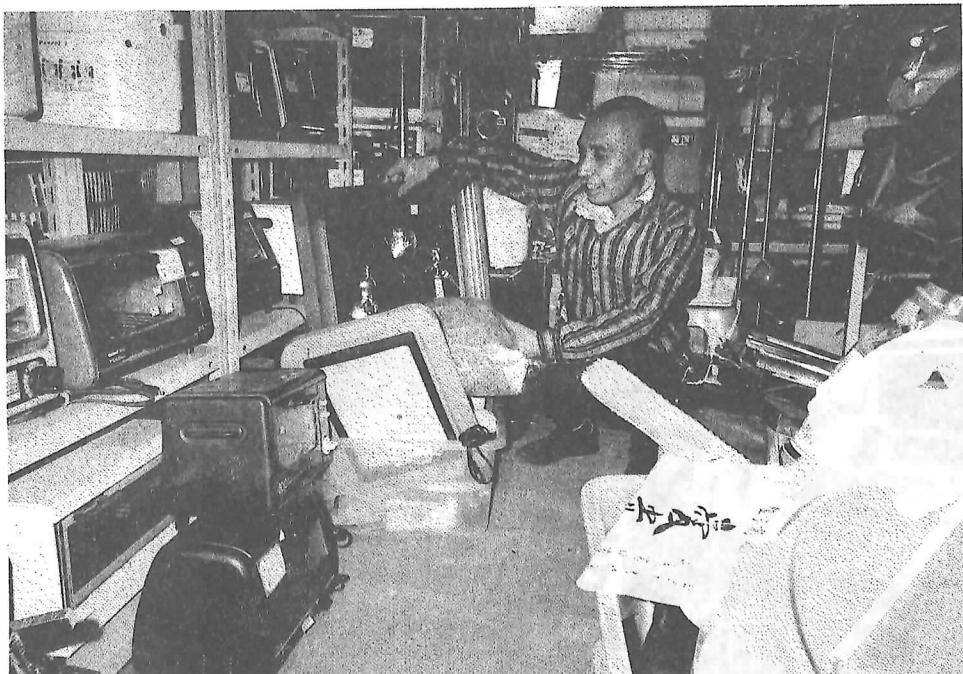
食器（皿、茶碗、コップ、コーヒーカップ、箸、スプーン、フォーク、鍋、土鍋、釜、フライパン、まな板、三角コーナー、台所用品、他いろいろ） 30 円～

家電（暖房器具、電気ポット、電気鍋、焼肉プレート、炊飯ジャー、電子レンジ、パソコン、ラジカセ、ミニコンポ、掃除機、ガスレンジ、照明器具、アンティーク物、他）

500 円から数千円、値段は高くなりますが、新品同様の物もあります。

家具（三段ボックス、ガラステーブル、事務用品、イス、ベビー用品、スポーツ用品、シルバーアイテム、健康器具、布団類、現在は売場のスペース問題もあり、大きい家具類は置いてません。） 200 円～数千円

雑貨（靴、かばん、文具、時計、玩具、装飾品、洗剤類、ビデオテープ、額絵、タオル、バスタオル、カーテン、釣具、工具、園芸用品、他色々な物があります） 30 円～数千円



絵 走川君

商品の整理

メンバースタッフ投稿コーナー

自転車名人2代目

富開 豊一

わしが自転車の修理を月の宮作業所でやりだしてもう8年になるかなあ

初代名人岡本さんから名人を引きついで3年くらいになると思う。

名人は何をしてるかというとバーツ交換だ

バーツ交換の中でも一番難しいのは後ろのタイヤ交換だ。交換したタイヤをはめて固定する時のバランスがとても難しい。

8年身につけた技術を後輩たちにも教えなあかんと思つてこの頃は後輩たちに教えてる。教えることによつてわしも成長出来るし後輩たちのレベルも上がる。みんなのレベルが上がることがワシの楽しみでもある。

私のしゅみ

大和麻耶

私のしゅみはこうしつのテレビをみることです。私がこうしつを見るきっかけはいまから10年まえにこうたいさんとまさことのごけつこんをみたことです。

こんかいのりのみやさまとくろださんのけつこんをビデオにとったりおいています。

夢造れますか

米田太

夢創れますか

破れた夢拾えますか

毎日の繰り返しの中で

自分大切にしてますか

夏の出会い宝物でしょうか

自分取りもどした女

その汗が俺は好きです

夢創れますか

破れた夢拾えますか

毎日の繰り返しの中で

愛を追いかけてますか

遠いビルの中で

あなたの笑顔支えに

本を売っています

だから僕も

今の行動信じることができました

突きあがる拳

それが 夢の再スタート

太陽と緑の会復活息吹として

しゃべる粉石けんの旅

私は9月末に他2名と共に沢山のてんぶら廃油をトラックに積んで滋賀県の丸大石鹼へと向かいました。先方に着いて廃油を降ろして粉石けんを積み込みました。廃油が粉石けんに変わっていく工程の説明を受けました。廃油が粉石けんになっていく過程では長年培ってきた勘があればこそ質の良い粉石鹼が出来るまさに職人の業であることを実感しました。また、粉石けんでは洗濯物の汚れが落ちにくいイメージがあつたのですが実は粉石けんの方が良く落ちるし、もちろん環境にもいいのでもっと浸透すべき商品だと思いました。環境問題の為にも一人でも多くの方に使ってもらいたいです。

その後、社長さんの人生経験や趣味でなさってる絵の話をしてくださいました。その話をしてくださいった内容はかなり刺激的でした。感じたことをこの場ではうまく伝えれませんが自然の中に生かされている人間らしい人間そんな印象を持ちました。あと絵を見せてもらったのですがその中の1枚がとても印象深くその絵は立体感のある写真みたいな絵で驚きました。廃油から粉石けんに変わっていく工程や社長さんのいろんな話などとても貴重な話が聞けた1日でした。

文 桑内

月の宮作業所 H17年11月号

かわら版

月の宮作業所とは

平成12年7月に一般市民の出入りも多く、慌ただしい雰囲気の国府のリサイクル作業所では「活き場所」を見出し�にくく、メンバーや、導入・またはリハビリ段階にあるメンバーのために、山に囲まれた自然の中で、ゆっくり作業に取り組める場所として新たに立ち上げました。場所は徳島市郊外の入田町にあり、身体障害、知的障害、精神障害など様々なハンディーを持つメンバーが自宅、施設、病院、共同生活棟などから通っている作業所です。無農薬農業、自然養鶏、自転車リサイクル、ウェス作り等の内職、昼食作り等を通じてその人なりの活かし方を模索しています。

活動時間 10時～16時

活動日 週5日

(日曜日と水曜日は休み)

現在は国府リサイクル作業所が罹災により、まだ全面再開に至っていないため、日曜日も活動しています。

月の宮メンバー投稿

数藤英司 最近の仕事

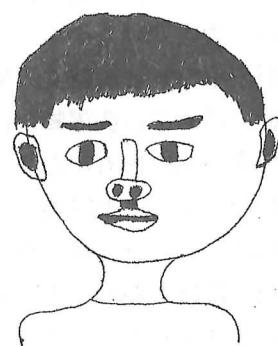
自転車のパーツ取り、鉄屑の仕分け解体、リサイクル自転車の磨き、農作業、作業所のみんなからは(本人いわく顔は優しいのに)何故か?親分と呼ばれています。



数藤君

小倉芳治

僕は本来は国府のメンバーですが、バザー前には月の宮で自転車のパーツ交換と自転車の仕上げ磨きをしています。月の宮に限らず、国府のみんなからも監督さんと呼ばれ親しまれています。



小倉君

今回は数藤君と小倉君の似顔絵をメンバーの喜彦さんに書いてもらいました。

月の宮だより

朝夕はめっきり寒くなってきた月の宮作業所では冬仕度を行っています。

作業所の暖房準備、冬の野菜の植えつけなどです。毎年この時期になると汽車通勤だった大木さんは晴れている日は自転車で来ています。

うどん、味噌汁、野菜炒めならスタッフがいなくても作れるようになった田村さんです。

メンバーの中心的な存在になりつつある数藤さんです。

家の畑仕事が忙しくなかなか出てこられませんが農作業の中心メンバー高橋さんです。

秋の間もメンバー各々が成長したと感じ取れる今日この頃です。

ボランティアさん募集

月の宮作業所ではボランティアさんを募集しています。大自然に囲まれた中で自転車作業や農作業をされてみませんか？あと、障害者福祉に興味のある方もぜひ月の宮の扉をノックしてください。

文 福家

今後の予定

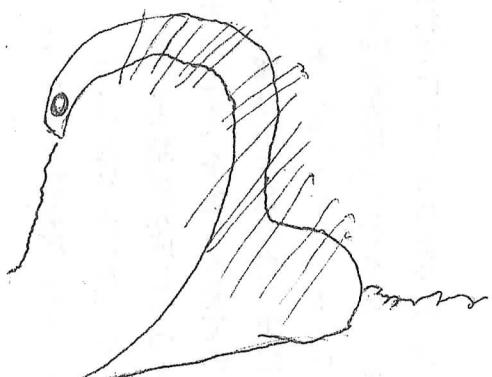
12月 冬野菜収穫

1月 じゃが芋植付

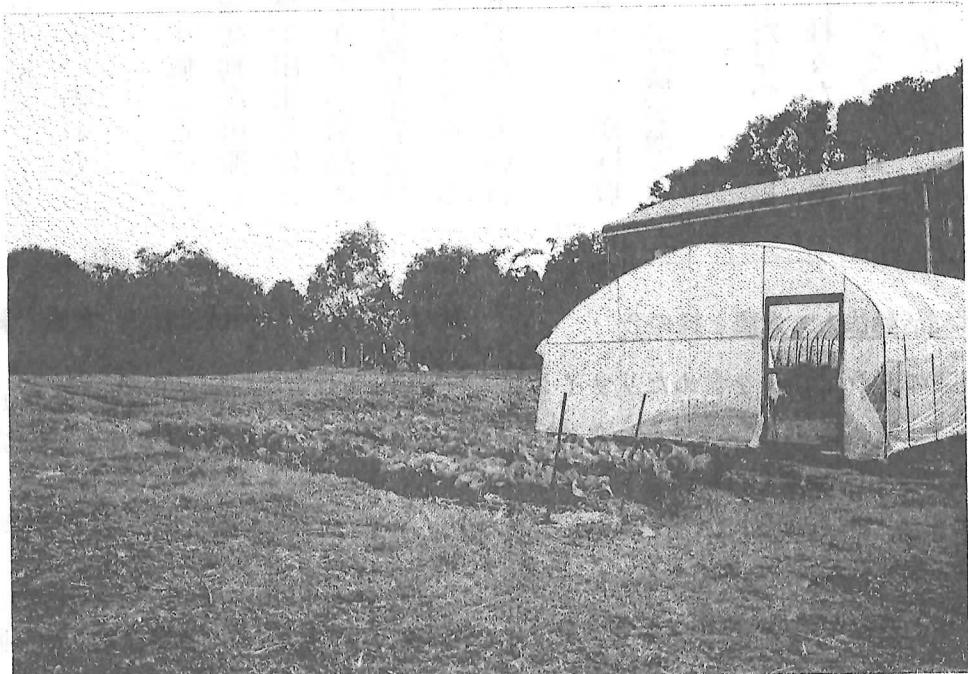
太陽と緑の会 月の宮作業所

徳島市入田町月の宮227-39

TEL・FAX088-644-0171



絵 数藤君



今の月の宮の畠の風景

後記

二〇〇五年二月二十七日。出勤してきたスタッフは丸一日、土手の上に立ち尽くし、全焼した建物を見つめていました。出勤してきたメンバーは全員家に帰りました。あれからもう九ヶ月が過ぎようとしています。

罹災に遭った最初の頃は販売活動どころではありませんでした。やがて、十個ほどの衣装ケースに生き残った食器や雑貨を並べて、屋根も何もない青空の下で販売活動を再開しました。最初は一日に数える程のお客様でした。レジがなくとも集計は暗算で出来るほどでした。品物が無く、作業がみつからず、毎日掃除ばかりの日々でした。やがて不用品を持込に来て下さるお客様が増えはじめ、トラックでの不用品の回収活動が再開しました。そうなると数えるほどだった商品はあつという間に十個百個と増え、販売スペースは一気に拡大しました。青空販売だった場所にテントが三つ張られ、急な雨にも慌てなくていいようになりました。

今は火事の前の回収軒数に比べたらまだ少ないほうですが、大きなトラックが回収活動のために一日フル回転するようになりました。少しづつ品物が増え、お客様が増え、そして、とても洒落た外装の立派な本館が完成しつつあります。

ですが、時々ふつと思い出すのです。全焼して全ての物を失った建物をただ見つめるしかできなかつたこと。焼け跡から運び出される真っ黒に焼け焦げてしまつた様々なものたち。全てを失いゼロになつてしまつたそこから、本当に沢山の方のご協力・ご支援、買い物に来てくださつたり、持込や回収依頼をしてくださる一般市民の皆様のおかげで、この今があるのだということを思わずにはいられません。完成間近の建物を見上げながらそんなことを考えてしまうのです。

文 木村有理子

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディーを持つたメンバー達の障害者地域共同作業所(2箇所)とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立つていけること」を目指して、様々な方々(一般市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っております。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120

徳島県徳島市国府町南岩延字小原107-1

TEL 088-643-1054 (事務局)

088-642-1054

(リサイクル作業所)

FAX 088-642-1054

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

代表理事 杉浦 良 編集サポート 岡田 郁子

編集 白石 隆信 桑内 一典

年会費：正会員 10,000 円 準会員 1,000 円

郵便振替口座：01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。